

川崎市岡本太郎美術館 2019年度 職場体験プログラム 利用案内

- 目的 美術館での仕事の実体験を通して、そこで働く人や来館者と接し、美術館の持つ役割や目的、機能を知ると共に社会的なルールやマナーを学ぶ。
- 受入日 美術館が開館している平日
1日コースと2日コースから選択。(館の臨時休館やイベント・ワークショップ、他の団体と重なる場合は希望に添えない場合があります。)
- 対象 中学生・高校生
- 人数 4～6名(グループ単位での受入れとなります)

■プログラム内容

<1日コース>

館内見学(学芸・普及の仕事)、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、受付監視の仕事

<2日コース>

館内見学、学芸・普及の仕事、庶務・広報の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、受付監視の仕事、キャプション・取材レポートの制作

○学芸・普及の仕事①(1時間)

内 容: 展示室内や普段公開していないバックヤードの施設を見学しながら、展示計画や美術品の収蔵・保管、調査研究等の仕事について学びます。

持ち物: 筆記用具

○学芸・普及の仕事②(4時間—2日コースのみ行います)

内 容: 展覧会の企画運営や、展覧会をより理解し楽しむためのイベントやワークショップ等の企画実施について学びます。

展覧会の企画(個人・グループ)、キャプションや図録の作成、ワークショップのシミュレーション参加等の活動をします。

(時期、日程により内容は変わります。下見時に相談の上決定します。)

持ち物: 筆記用具、デジタルカメラ(必要に応じて)

○施設管理の仕事(1時間)

内 容: 施設管理の職員と共に館内を巡視しながら、館内設備を見学します。電気・空調設備点検、防火・災害対策等について学びます。

持ち物: 筆記用具

○ミュージアムショップの仕事(1時間)

内 容: 接客、商品の検品・袋詰・陳列、ポップの制作を行います。

持ち物: 筆記用具

○受付・監視の仕事(1時間)

内 容: 受付での接客、チケットの受け渡し、会場内での監視を行います。

持ち物: 筆記用具



○**広報PRの仕事**（30分程度、2日コースのみ要望に応じて行います）

内 容：広報活動の方法、生田緑地内の連携について学びます。

持ち物：筆記用具

1日のスケジュール<1日コースの場合>

9:30	美術館集合（エントランスホール）
9:30～10:00	プログラム全体のオリエンテーション(創作アトリエ)、職員への挨拶
10:00～12:00	体験
12:00～13:00	昼食（創作アトリエ）
13:00～15:00	体験
15:10～15:30	まとめ、連絡（創作アトリエ） 職員への挨拶—2日の場合は2日目に行います
15:30	解散

■**持ち物、服装**

持ち物：昼食（ゴミは持ち帰ってください）、飲み物
学校制作のワークシートなど、筆記用具（鉛筆を必ず）、デジタルカメラ（必要に応じて）
名札（職場体験用に学校で作成したもの）

服 装：学校で着用 of 制服（きまり通りに着用のこと）及び通学バッグ

■**申し込み方法**

1. 体験を希望される日の2ヶ月前までに電話でお申し込みください。
2. 申込書をFAX等で送付してください。（申込書はHPよりダウンロードできます。）
3. 申込後、プログラムの内容や日程など、下見を兼ねて美術館担当者と打ち合わせをお願いします。（日時、詳細についてはお電話でご連絡ください）
4. 2週間前までに、生徒との事前打ち合わせをお願いします。

川崎市岡本太郎美術館 普及企画担当
〒214-0032 川崎市多摩区柵形 7-1-5
TEL044-900-9898 FAX 044-900-9966